

大榑川沿の名所・旧跡



1 江戸時代から残る村の道

巾1間ほどの江戸時代の名残を残す道が下大榑にはある。

2 昔の薬屋さん

伊藤家では、無雙丸という引きつけや癪癩に効く、赤い丸薬を調合していた。その效能を聞きつけ遠方から多くの需要があった。

3 心岩院

宝暦治水の第2期工事でなくなった、薩摩義士八郎左衛門の墓がある。

4 雨乞いの狛犬

加毛神社には、日照りがつづくと雨乞いのために登場する「雨乞いの狛犬」がいる。この狛犬を大榑川に投げ込んで雨を待ったという。昔投げ込まれた「あうん」の狛犬。



…「ちゅうばいきる」

(例)ちゅうばいきる
(仲なおりさせる)
もんがおらん

大榑川沿にまつわる民話

堤の赤じじ ~ヤシャ神様~



堤とは、下大榑新田の江川が大榑川に流れ込むあたりの集落の地名。昔、まだ大榑川が大藪でしめ切られる前、竹藪が続いて屋も薄暗く、水も濁り薄気味悪い大渕で、コイヤやフナなど魚の巣のようなところだった。この辺りに住む孫さという漁師がこの渕で魚を捕っていたが、ある日投げた網が何かに引っかかったので渕に潜った。すると、大赤じじが網を口にくわえ、太いひげを動かしながら、大きな目玉を見開いて孫さをにらみつけていた。「こら孫! おまえは毎日おれの家来を獲っているが、明日からは一切魚を捕ることはならんぞ。」と大声でいった。孫さは「わしは漁師が商売だ、魚を捕らんわけにはいかん。」といい返し、家へ走り込んだ。その晩から高熱が出てごはんものどを通らず、「赤じじ。赤じじ。」とうなされながら三日目にとうとう死んでしまった。村の人たちは、「孫さはあまり魚を捕りすぎて大榑川のぬしのたたりで死んだ。」とうわさした。赤じじとは、年をとった大ヒゴイのことだ、大正の頃迄は一メートルのコイは沢山いたという。

輪之内町へのアクセス



自動車をご利用の場合

名神高速道路岐阜羽島IC・
大垣ICより約10分
東名阪高速道路長島ICより約30分

公共交通(名阪近鉄バス)をご利用の場合

JR大垣駅前～輪之内町文化会館(輪之内線)約35分
岐阜羽島駅～輪之内町文化会館(輪之内羽島線)約20分

★タクシーの利用は、スイタクシーコール (0584) 64-5155 羽島タクシー (058) 391-4101

東海道新幹線 岐阜羽島駅～輪之内町文化会館 車で約20分
養老鉄道 烏江駅～輪之内町文化会館 車で約20分

WANOUCHI WALK MAP



南北136度38分 東西35度16分 輪之内は輪中22.4km²の世界

其之8 大榑川沿編

全長4km・160kcalのウォーキングコース



大榑に続く橋



大榑川の左岸堤から
下大榑集落を望む

岐阜・輪之内
～JR大垣駅・岐阜羽島駅からつながる～

菱田まゆみ 画

輪之内町役場産業課

〒503-0204 岐阜県輪之内町四郷2520 ☎ (0584) 69-2188

E-mail info@washoko.or.jp http://kanko.washoko.or.jp/

お問い合わせ



古い神社につながる江戸の農村集落が見られる



1km
500m



中江川

馬の石碑

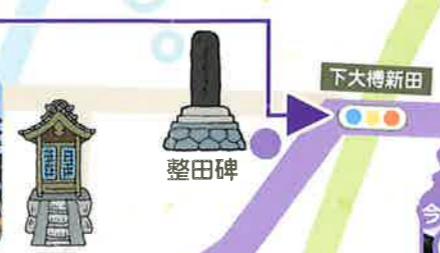
水路の南に高さ50センチ程度の「駒碑 毛利」と刻んだ石碑がある。



下大槽新田1629番地の1先



高屋敷伊藤邸



海松新田1088番地の1先



P

輪之内

WalkMap
わのうちウォーク

古い神社につながる江戸の農村集落が見られる・全長4キロウォーキングコース
大槽川沿編



薩摩義士の墓がある。輪之内町には数少ない臨済宗妙心寺派の禅寺で、境内には、神明神社やお稲荷さんがあり、町指定「おりん」もある。



下大槽69番地の1先

